

2025年
令和7年12月24日発行

冬号

北海道観光レポート

Hokkaido Tourism Organization



小樽市 小樽運河



上士幌町 タウシュベツ橋梁



千歳市 氷濤まつり



豊頃町 ジュエリーアイス

- 7～9月の訪日外国人延べ宿泊数、堅調な増加でインバウンド需要を牽引
- 8～10月の来道者輸送実績、航空機が好調で全体プラスを維持

トピック

「菰川特別顧問 就任記念セミナー」を開催

「ツーリズムEXPOジャパン2025愛知・中部北陸」に出展しグランプリ受賞

HOKKAIDO LOVE!



「菰川特別顧問 就任記念セミナー」を開催しました

11月7日（金）札幌グランドホテルにて、9月より当機構特別顧問に就任した菰川直也氏（前観光庁長官）が、「我が国の観光の現状と今後の展望」と題して講演。訪日外国人の約7割が三大都市圏に集中する現状を踏まえ、地方誘客の重要性と北海道のポテンシャルを強調。「観光に加え、農業や文化など多様な産業を巻き込むことが成功の鍵」と述べ、北海道が全国を先導する役割を担うよう呼びかけました。会場には約110名が参加しました。



来道者輸送実績

2025年8-10月

- 全体の来道者数は、2025年8月は155.9万人（前年同月比+5.1%）、9月は135.0万人（同+1.5%）、10月は132.0万人（同+2.0%）であった。
- 8月、9月、10月とすべてにおいて前年同月比を上回った。輸送機関別では、特に航空機が各月で前年を上回り、好調に推移している。

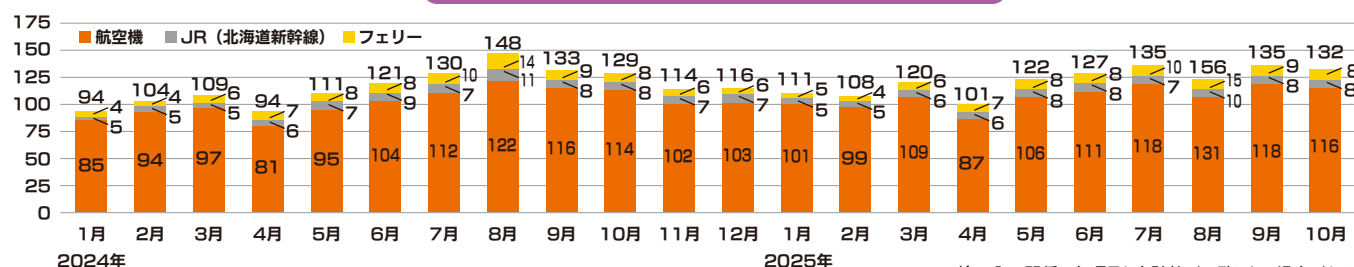
輸送機関別来道者数データ（2025年8-10月）

（単位：万人）

	2025.8		2025.9		2025.10	
	来道者数	前年同月比	来道者数	前年同月比	来道者数	前年同月比
全体	155.9	+5.1%	135.0	+1.5%	132.0	+2.0%
航空機	130.8	+6.9%	118.2	+2.2%	116.4	+2.5%
JR	10.1	▲11.6%	7.8	▲4.5%	7.5	▲4.1%
フェリー	14.9	+3.3%	9.0	▲0.9%	8.1	+1.9%

（万人）

来道者輸送実績（輸送機関別） 月別の推移



出典：「HTO来道者輸送実績調査」をもとに作成

※四捨五入の関係で各項目と合計値が一致しない場合がある。

会員
向け

輸送機関別来道者（発地別、着地別）及びインバウンド位置情報データ（人流データ）はコチラ ▶
北海道の観光統計データ <http://statistics.visit-hokkaido.jp/>



北海道の延べ宿泊者数実績

2025年7-9月

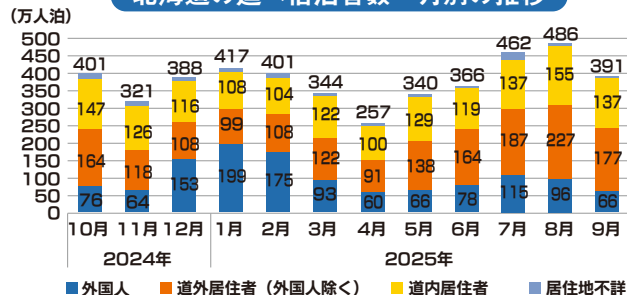
- 北海道の延べ宿泊者数(全体)は、2025年7月は462万人泊(前年同月比▲0.6%)、8月は486万人泊(同▲2.5%)、9月は391万人泊(同▲8.8%)であった。
- 北海道の日本人延べ宿泊者数は、2025年7月は347万人泊(前年同月比▲6.0%)、8月は389万人泊(同▲5.2%)、9月は325万人泊(同▲11.2%)であった。
- 北海道の外国人延べ宿泊者数は、2025年7月は115万人泊(前年同月比+20.0%)、8月は97万人泊(同+10.1%)、9月は66万人泊(同+5.2%)であった。
- 前年対比では、延べ宿泊者数全体では、各月で前年を下回った。日本人延べ宿泊者数においても、各月で前年を下回ったものの、外国人延べ宿泊者数は各月で前年を上回り、外国人延べ宿泊者数は好調に推移している。日本全体においても日本人延べ宿泊者数は落ち込み、外国人延べ宿泊者数は7月は落ちこんだものの、8月、9月は好調を維持している。
- 市場別の延べ宿泊者数は、7-9月の合計で韓国が67.4万人泊と最も多く、次いで台湾54.9万人泊、中国34.9万人泊、香港13.4万人泊、米国11.0万人泊、シンガポール5.9万人泊、タイ4.1万人泊、オーストラリア2.5万人泊となった。

延べ宿泊者数データ(2025年7-9月第2次速報)

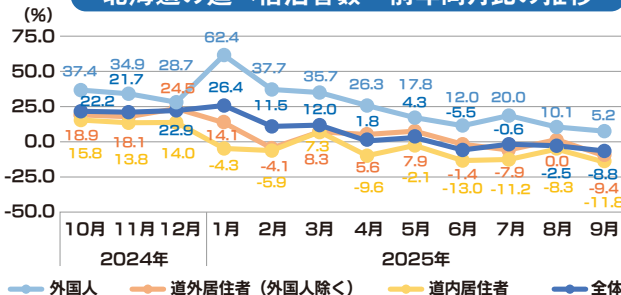
(単位:万人泊)

		2025. 7		2025. 8		2025. 9	
		延べ宿泊者数	前年同月比	延べ宿泊者数	前年同月比	延べ宿泊者数	前年同月比
北海道	全体	462	▲0.6%	486	▲2.5%	391	▲8.8%
	日本人	347	▲6.0%	389	▲5.2%	325	▲11.2%
	外国人	115	+20.0%	97	+10.1%	66	+5.2%
全国	全体	5,575	▲2.6%	6,598	▲0.4%	5,310	▲3.6%
	日本人	4,177	▲2.0%	5,214	▲1.5%	4,053	▲5.0%
	外国人	1,398	▲4.2%	1,385	+3.8%	1,257	+1.3%

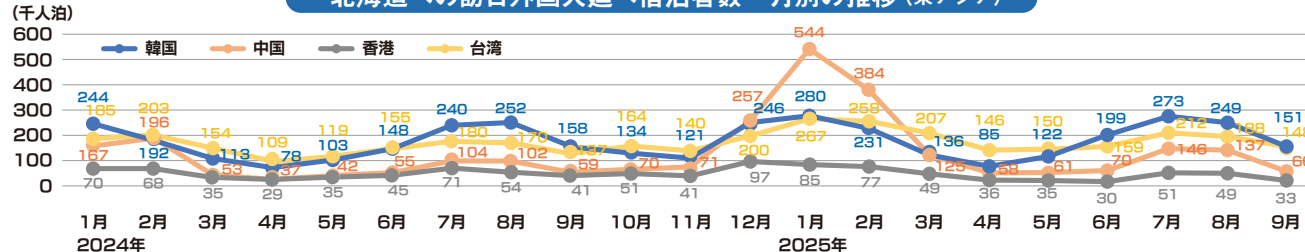
北海道の延べ宿泊者数 月別の推移



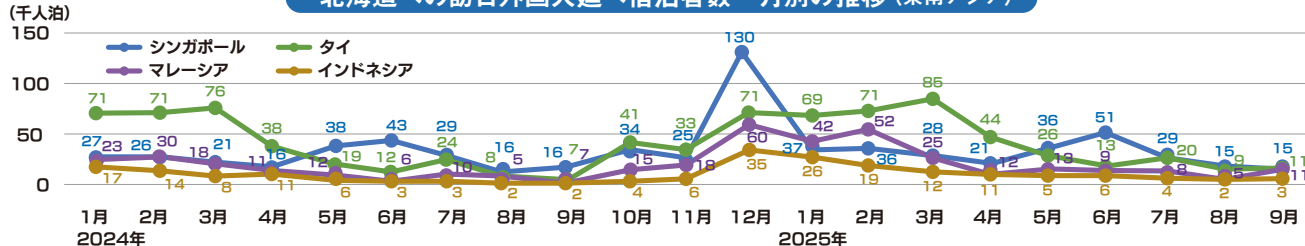
北海道の延べ宿泊者数 前年同月比の推移



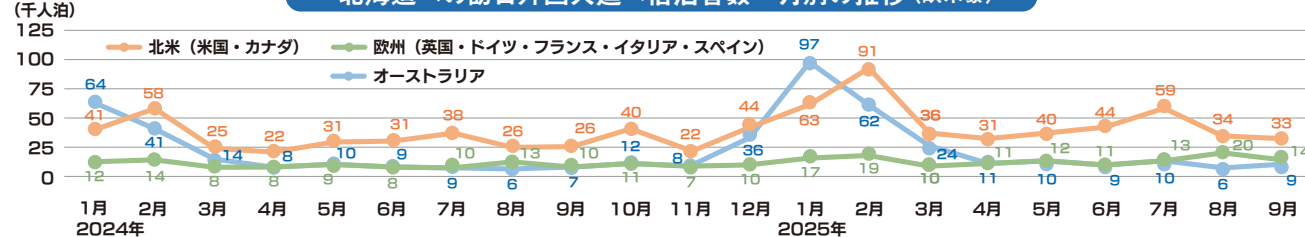
北海道への訪日外国人延べ宿泊者数 月別の推移(東アジア)



北海道への訪日外国人延べ宿泊者数 月別の推移(東南アジア)



北海道への訪日外国人延べ宿泊者数 月別の推移(欧米豪)



出典:「観光庁宿泊旅行統計調査」をもとに当機構作成。国別訪日外国人延べ宿泊者数の月別の推移は、延べ宿泊者数が多い国・地域を抽出。

注1:2024年1~12月は確定値、2025年1~9月は速報値。

北海道ブースがグランプリ受賞! 「ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸」に出展

北海道は、9月25日(木)から28日(日)まで愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)で開催された世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸」に出展し、北海道ブースが一般投票によるブースグランプリを受賞しました。

今回、中部圏で初開催となった本イベントには127,677人が来場。北海道ブースには道内42の地域・団体が集結し、BtoB商談会や一般向け観光プロモーションを展開しました。さらに、事前のSNSキャンペーンや地元インフルエンサーの活用により、多くの来場者を獲得しました。ブースでは、北海道の雄大な自然や景観を象徴的に表現し、体験型コンテンツやステージイベントを通じて北海道の魅力を発信。9月27日(土)には鈴木知事も登壇し、北海道の観光PRを実施しました。



主なPR実績

SNS登録促進
(Instagram・LINE)

6,804人

WEBアンケート回答数

5,895人

キュンちゃんグッズ販売

ぬいぐるみ・
クリアファイル等完売

さっぽろ圏e旅ギフト

チラシ配布1,000枚

搭乗者キャンペーン

チラシ送付1,000枚

バーチャル北海道VR体験

493名

北海道ブース周遊
スタンプラリー

単独出展8団体と
連携し実施

※連携8団体の内訳・・・ニセコ東急グランヒラフ、ニセコ観光圏、
三笠観光協会、富良野市、美唄市、
知床斜里町観光協会、札幌商工会議所、
北海道環境生活部自然環境課

試飲・試食

日本酒・ワイン1,600杯、
おつまみ類100品



今回の受賞は、来場された皆さまが北海道観光への高い関心を示してくださったものと改めて感謝しています。今後も大型イベントへの積極的な出展を通じ、北海道の魅力を国内外に発信してまいります。(金田)

「HOKKAIDO LOVE!WAON」が新登場!

イオン北海道株式会社様は、11月13日(木)より新しいご当地WAON「HOKKAIDO LOVE! WAON」の販売を開始しました。販売場所は、道内の「イオン」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」などの139店舗に加え、北海道庁旧本庁舎の赤れんがショップでもお求めいただけます。なお、北海道とイオン株式会社様は、双方が持つコンテンツを有効に活用し、北海道の一層の活性化と道民サービスの向上に協働して取り組むことを目的に2011年7月に包括連携協定を締結し、その取り組みの一つとして「ほっかいどう遺産WAON」を発行しました。本件は第2弾です。このWAONカードをご利用いただくと、利用金額の一部が当機構に寄付され、北海道の観光振興に活用されます。ぜひ皆さまも「HOKKAIDO LOVE! WAON」をご利用いただき、北海道の観光と一緒に盛り上げていきましょう。

概要 発行枚数・・・10,000枚 発行手数料・・・1枚300円(税込み) チャージ可能金額・・・上限5万円
※一回当たりのチャージ限度額は4万9千円まで
北海道内限定販売(全国販売は行いません)



HTB「onちゃん誕生会2025」参加! キュンちゃんとの新コラボの相談も!?

12月1日(月)12時15分より、HTB本社1階「onちゃんテラス」にて「onちゃん誕生会2025」が開催され、今年はキュンちゃんが初めて参加しました。イベント会場は、onちゃんのお誕生日を祝う温かい雰囲気に包まれました。当日は、HTBアナウンサーの室岡さんと藤澤さんが進行を務め、onちゃんズのnoちゃん・okちゃんに加えて、テレビ父さんも登場。道外からの来場者も多く、会場は終始にぎわいを見せました。また、テレビ父さんとのコラボグッズをみたキュンちゃんからonちゃんへ新たなコラボグッズ制作を提案する場面もありました。今回のイベントを通じ、より一層交流が深まる機会となり、今後の展開が期待されます。



HOKKAIDO LOVE!



北海道観光PRキャラクター

キュンちゃんグッズ

好評発売中!!

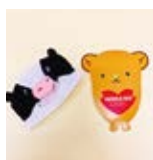
HTOでは、北海道観光PRキャラクター『キュンちゃん』グッズを販売しております。

キュンちゃん公式ネットショップでは、ぬいぐるみやクリアファイルなど様々なアイテムを取り扱っております。観光プロモーション等でノベルティ、景品としてご利用の場合は、**お得な会員価格**でご購入いただけます。



キュンちゃん公式ネットショップ

新商品も続々登場!



<https://kyunchanshop.official.ec/>

キュンちゃんグッズを販売していただける店舗も募集しております。

詳しくはマーケティング・DX部までお問い合わせ下さい。



お問い合わせ先

☎ 011-231-0941 (担当: 津田・若月) ✉ kyunchan_ec@visithkd.or.jp

※各部で展開している事業の一例をご報告いたします。

プロモーション部

観光PRイベント「こんなとこだよ北海道 in 大阪」を開催

「大阪・関西万博」をきっかけに関西からの来訪を広げるため、9月6日(土)～7日(日)、JR大阪駅直結の「KITTE大阪」で観光PRイベントを実施しました。北海道から7団体が参加し、各地の魅力や文化を紹介。キュンちゃんの登場や撮影会に加え、キュンちゃんオリジナルジェラートの販売も行いました。会場近くの「北海道うまいもの館」とも連携し、集客につなげました。今回の取り組みを通じ、関西と北海道の相互送客をさらに進めていきます。(坂本)



プロモーション部

欧米豪市場誘客促進事業(欧州市場)

9月3日(水)～9日(火)、英国第2の都市マンチェスターで開催された国際交流イベント「第50回ジャパンウィーク」に、北海道ブースとして出展しました。装飾や演出が来場者の目を引き、連日多くの市民でにぎわいました。マンチェスターにはアジア出身の移住者が多く、北海道に親しみを持つ方、留学やワーキングホリデー経験者、親日家の英国人の姿も多く見られました。アンケートでは訪日経験者が過半数を占めた一方、北海道訪問経験は約2割にとどまり、今後の誘客拡大の余地が大きいことが分かり誘客促進に取り組んでまいります。(杉山)



プロモーション部

欧米豪市場誘客促進事業(北米市場)

9月12日(金)から20日(土)にかけて、北米での認知拡大と誘客を目的としたFAMトリップを実施しました。テーマは「食とワイン」「ウェルネス」「夜の楽しみ」「アドベンチャー」。米国・カナダの旅行会社8社から8名を招き、関心に応じて選べる2つのコースを用意しました。1班は函館空港から道南・道央を巡り、2班は新千歳空港から道東へ。参加者は北海道ならではの魅力を体験し、具体的なツアー造成のイメージにつながる成果を得ることができました。(大川)



プロモーション部

欧米豪市場誘客促進事業(欧州市場)

9月21日(日)、ロンドンのトラファルガー広場で開催された英国最大級の日本文化・食の祭典「ジャパン祭り」に初めて出展しました。来場者アンケートでは、訪日経験者は66%と高い一方、北海道訪問経験者は約36%にとどまりました。北海道の認知度は約5割と一定の浸透が見られたため、欧州からのインバウンド拡大に向けた取り組みを進めてまいります。(杉山)



観光戦略部

伴走支援型 観光地域力強化推進事業(アドバイザー派遣)

「十勝の食文化を十勝で楽しむ」ガストロノミーツーリズムの構築 日本を代表する食の産地・十勝の食材をきっかけに、来訪促進をめざす取り組みです。10月14日(火)～15日(水)の二日間にフードライター小西由稀氏をお招きし、「体験・知る・味わう」の視点で十勝の魅力を体感いただき、「十勝ならではのガストロノミーツーリズム」実現に向け、関係者で意見を交わしました。今後も北海道の魅力を掘り起こし、来訪につなげていきます。(澤山)



「鮭の命をまるごと味わう雄武ガストロノミー体験」10月19日(日)～20日(月)、雄武町で水揚げされる鮭の魅力を体感するツアーにアドバイザーを派遣しました。鮭を一尾さばく体験や、各部位を地元の食べ方で味わう食体験、水揚げ見学、オホーツク海を一望できる宿でくつろぐプランです。観光プロデューサーの橋屋氏とフードプロデューサーの工藤氏の2名が同行。良質な素材をさらに高めるべく、体験の見せ方や提供方法など、魅力と満足度を高めるための多彩な助言をいただきました。(藤原)



マーケティング・DX部

リハビリ・レスパイト・ケアツーリズム推進事業

本事業は「ケアツーリズム」の一環として、リハビリとレスパイトに焦点を当て、北海道の観光資源と融合した健康増進型観光を検証する取り組みです。

10月13日(月)～14日(火)、阿寒町での研修では、自治体や事業者が参加し、支援技術や福祉用具体験を通じて高齢者・障害者旅行支援の実践的知見を共有しました。さらに、帯広・登別・富良野でも同様の研修を実施し、地域特性を踏まえたモデルコース体験を重ね、実証データに基づくプログラム開発の可能性を探りました。

12月1日～4日に阿寒など4地域で開催し、研修・モニターツアーの成果を報告しました。

また、12月6日には札幌会場で学会連携の特別研究会も実施し、ケアツーリズムの可能性を議論しました。(若月)



プロモーション部

アジア市場誘客強化事業(インドネシア市場)

10月17日(金)、Hilton Bandung (ヒルトン・バンドン)で、初の北海道観光セミナーを開催しました。

バンドンは美しい自然と豊かな文化を持つ魅力的な都市で、近年は観光産業の成長が注目されています。

当日は、現地の旅行会社20社と北海道から4団体が参加し、活発な情報交換が行われました。バンドンでの開催は初めてでしたが、参加各社は各団体の発表に熱心に耳を傾け、北海道観光への関心の高さがうかがえました。北海道も新たな旅行先として注目を集めており、今後のインバウンド拡大に大きな手応えを感じる機会となりました。(杉山)



観光戦略部

ユニバーサルツーリズム推進事業(ホスピタリティ向上)

10月18日(土)～19日(日)に函館で「親子旅育ツアー(バスツアー+ふりかえりワークショップ)」を開催しました。18日は10組20名、19日は14組28名の親子が参加。旅育コンサルタント・村田和子氏の監修のもと、事前のオンラインセミナーで計画を立て、当日のバスツアーではミッションに挑戦しながら楽しく実践しました。さらに、函館空港や市電事務所では“おもてなし”を学ぶ仕事体験も行いました。

当機構は、今後もユニバーサルツーリズムの一環として、北海道ならではの“おもてなし”の心を育む取り組みを進めていきます。(記虎)



プロモーション部

北海道観光情報交換会

10月21日(火)大阪、22日(水)東京にて、関西圏・首都圏のメディアや旅行会社の皆さまを対象に、北海道観光の魅力を発信し関係を深めることを目的とした情報交換会を2都市で開催しました。計84名にご参加いただき、時間や場所をずらして北海道を



大阪会場

ゆったりと楽しむ時間差の旅やガストロノミー、冬のおすすめ情報などを、道内7地域と連携してご紹介しました。第2部ではブース形式で名刺交換と意見交換を行い、情報発信力の強化と連携の深化を図るとともに、地域偏在の解消や旅行需要の喚起、来道促進につなげました。(林)

進行中の事業

観光戦略部

令和7年度 道央地域分科会 地域プロモーション事業 (冬期バス周遊促進)

お知らせ

令和7年12月23日から翌年2月28日までの冬期限定で、登別・洞爺湖とニセコ・ルスツを結ぶシャトルバス「北海道リゾートライナー スペシャル号」を運行します。道央エリアの周遊観光を後押しし、地域住民と海外からの来訪者の移動をより便利に。地域の魅力を高め、需要拡大につなげます。



観光人材発掘事業

観光戦略部では、宿泊業の人材不足に対応するため、「観光人材発掘事業」を実施しています。10月9日(木)には旭川商業高校で出前講座を開催し、星野リゾートの相内氏と(株)ヒト・コミュニケーションズの瀧川氏が講師を務めました。講座後は施設見学やインターンシップを通じて宿泊業への理解を深める機会を提供しました。10月22日(水)には職場見学、10月24日(金)には道教育委員会と連携した出前授業も行い、観光人材の育成を図っています。(高橋)



プロモーション部

アジアでのAT販促レポート

10月15日(水)～17日(金)、シンガポール開催の旅行業界向けBtoB見本市「ITB-ASIA2025」に出展しました。当機構は単独ブースで参加し、計51件の有効商談を実施。来場者は約18,000人、バイヤーは1,500人超でした。北海道のAT(アドベンチャーツーリズム)の認知はまだ伸びしろがありますが、FAMトリップの有効性が多数報告され、自然環境とアクティビティへの評価も高水準でした。ATTA(Adventure Travel Trade Association)との連携も前進し、今後の誘客施策に弾みがつく見込みです。(坂口)



Adventure Travel World Summit 2025参加

10月13日から16日までの4日間、チリ・パタゴニア地方のプエルト・ナタレスで開催された「ATWS2025」に参加しました。チリは国立公園が多く、パタゴニアから砂漠まで広がる雄大な自然と文化が魅力です。今回のテーマは「水の魂、大地の精神」。持続可能な観光や地域とのつながりを重視し、現地ツアーを通じて自然との一体感を体験しながら、世界のATコミュニティとの交流を深めました。



オープニングセレモニーの会場

◆北海道からの参加状況

大会には世界中から700名以上が参加。日本からは21名、そのうち北海道からは近畿日本ツーリスト、エゾシカ旅行社、鶴雅リゾート、ひがし北海道自然美への道DMO、道認定ATガイド、北海道運輸局、北海道、当機構の11名が参加しました。

◆商談会(MarketPlace)

市街地の別会場で行われた商談会では、事前マッチングで12社と面談。

カナダのバイヤーからは「北海道の魅力は自然だけでなく、温泉やグルメ、歴史も知りたい」との声。米国のバイヤーは「クリスマス時期のニセコやルスツは価格が高騰している」と指摘。インドのバイヤーはハイキングやラフティングに興味があり、食事はインド料理にこだわらないとの意外なコメントもありました。

◆ATTA CEO Shannon Stowell氏の挨拶と基調講演

期間中の挨拶や基調講演では、アドベンチャートラベル市場の現状や最新トレンドが報告されました。調査によると、AT市場は1.6兆ドル規模にまで成長しており、旅行者の67%がアドベンチャートラベルに前向きな姿勢を示しています。

興味の分野別では、Adventure 14%、Nature 14%、Experience 12%、Culture 27%と、特に「文化」への関心が高いことが明らかになりました。



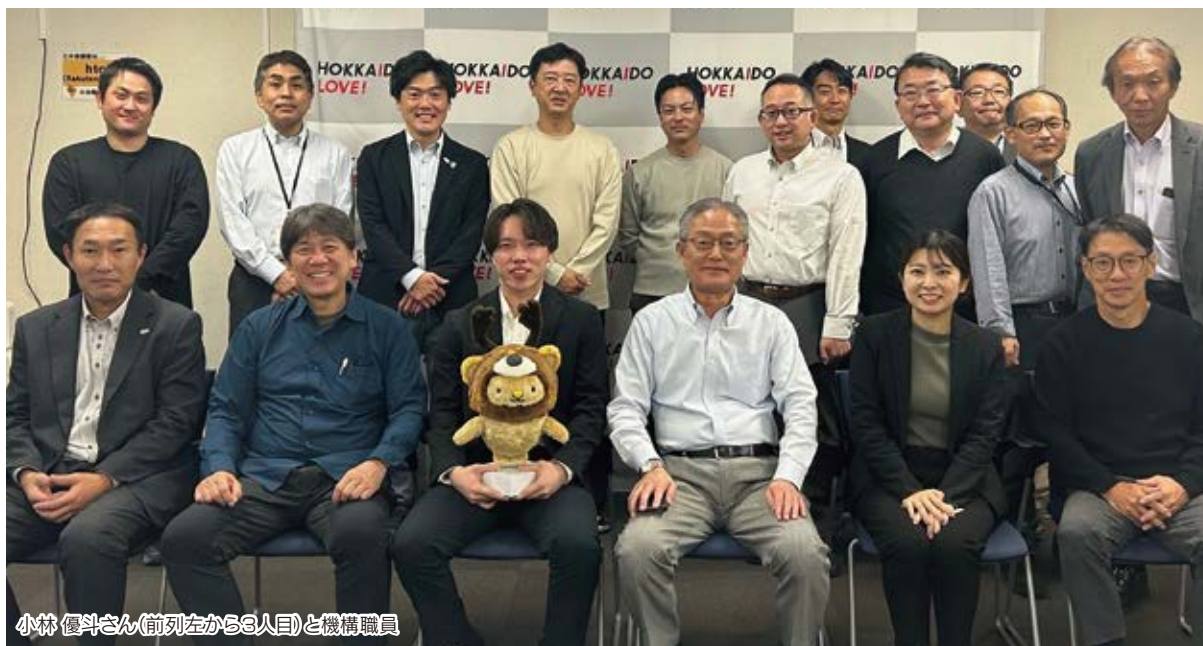
◆総括

遠隔地にもかかわらず北海道から11名が参加し、日本ブームの追い風もあって活発なネットワーキングができました。ATWSは商談だけでなく、AIや観光負荷の増大など世界共通の課題を議論する場でもあり、観光全体を考える貴重な機会です。次回は2026年9月、カナダ・ケベックシティで開催予定。引き続きATTAとの連携を深め、アドベンチャートラベルの推進に取り組んでいきます。(石橋)

公式サイトのもためページ <https://events.adventuretravel.biz/summit/chile-2025/wrap-up>



◆インターンシップ生を受け入れました



小林 優斗さん(前列左から3人目)と機構職員

当機構は、将来の観光人材育成に貢献するため、10月6日(月)～20日(月)、大正大学公共政策学科の小林優斗さんのインターンシップを受け入れました。

- 幅広い業務体験・・・HTOの活動概要や観光振興業務の体験に加え、自主財源拡大の取り組みや行政の視点を学ぶため、北海道庁や札幌市への訪問も行いました。
- 学びの提案・・・日程最終日には、今回の経験を活かし、北海道への観光客誘致を促すための施策について、HTO職員に対し具体的な提案いただきました。
- 今後の期待・・・このインターンシップでの学びが、小林さんの今後の学業や就職活動に役立つことを願っています。

出向者紹介 (10月1日付着任)



東 裕一 (あずま ゆういち)

総務部担当部長 出向元:北海道コカ・コーラボトリング(株) 八雲町出身
前職では主に道南・道東を中心に営業活動に従事し10月よりHTOの総務部に配属となりました。前職の営業とは異なる分野となり、慣れない部分も多く、会員企業の皆様へは、ご迷惑をお掛けする点も多くあるかと存じますが、一日も早くHTOの一員としてお役に立てるよう業務に取り組んで参る所存です。
また、前職での営業経験を活かし、北海道観光PRキャラクター「キュンちゃん」の拡販や会員様の拡大にも努め微力ながらも、北海道の観光振興のために尽力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。



立松 美採 (たてまつ みさえ)

総務部主任 出向元:近畿日本ツーリスト(株) 札幌市出身
出向元では地域誘客など、観光振興に携わってきました。
大好きな北海道の魅力を多くの人に伝えられるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします!

令和6年度道内観光産業による経済効果について(確定版)

1. 観光総消費額推計

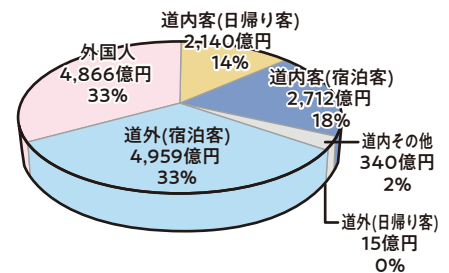
- 観光消費単価と観光入込客数(実人数)を乗じて、下表のように総観光消費額を推計した。
- 総観光消費額は1兆5,033億円程度となり、昨年(1兆2,846億円)から約2,200億円、17%程度の増加となった。
- 観光消費額の構成は道内観光客(日帰り・宿泊客)が全体の34%(計4,852億円)を占める。
- 道外客需要は観光消費額の33%(4,974億円)を占めている。
- 外国人需要は入込数増・消費単価がともに増加し、観光消費額の32%(4,866億円)を占め、消費額の上では道外客に迫る規模にまで拡大した。

道内での総観光消費額

			道内客				道外客			外国人	合計
			日帰り客	宿泊客	その他	合計	日帰り客	宿泊客	合計		
a	年間観光客数	R6年度	3,364万人	790万人	214万人	4,368万人	11万人	516万人	527万人	283万人	5,178万人
		R5年度	3,215万人	823万人	214万人	4,252万人	11万人	494万人	505万人	234万人	4,991万人
		増減	149万人	▲33万人	0万人	116万人	0万人	22万人	22万人	49万人	187万人
b	道内観光消費額単価 (推計用調整値) (1人)	R6年度	6,361円	34,331円	15,853円	—	13,500円	96,114円	—	171,954円	—
		R5年度	6,497円	32,398円	15,853円	—	18,385円	91,518円	—	137,180円	—
		増減	▲136円	1,933円	0円	—	▲4,885円	4,596円	—	34,774円	—
c	道内観光総消費額 (a×b)	R6年度	2,140億円	2,712億円	340億円	5,192億円	15億円	4,959億円	4,974億円	4,866億円	15,033億円
		R5年度	2,089億円	2,666億円	340億円	5,095億円	20億円	4,521億円	4,541億円	3,210億円	12,846億円
		増減	51億円	46億円	▲0億円	97億円	▲5億円	438億円	433億円	1,656億円	2,187億円
構成比 (%)		R6年度	14.2%	18.0%	2.3%	34.5%	0.1%	33.0%	33.1%	32.4%	100.0%
		R5年度	16.3%	18.0%	2.3%	34.5%	0.1%	33.0%	33.1%	32.4%	100.0%

※四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある。

道内での総観光消費額 観光客種別構成



分野別観光消費額

		観光入込客数	支出内訳						合計
			①交通費	②宿泊費	③飲食費	④買い物費	⑤娯楽等サービス	⑥その他費用	
道内客	日帰り客	3,364万人	768億円	0億円	665億円	578億円	124億円	5億円	2,140億円
	宿泊客	790万人	686億円	1,047億円	534億円	343億円	100億円	1億円	2,712億円
	その他	214万人	109億円	17億円	31億円	130億円	52億円	0億円	340億円
	合計	4,368万人	1,563億円	1,064億円	1,230億円	1,052億円	277億円	6億円	5,192億円
道外客	日帰り客	11万人	5億円	0億円	8億円	2億円	1億円	0億円	15億円
	宿泊客	516万人	1,188億円	1,562億円	1,111億円	768億円	288億円	42億円	4,959億円
	合計	527万人	1,193億円	1,562億円	1,118億円	770億円	288億円	42億円	4,974億円
	外国人	283万人	857億円	1,885億円	1,083億円	790億円	230億円	21億円	4,866億円
合計		5,178万人	3,613億円	4,511億円	3,432億円	2,612億円	795億円	69億円	15,033億円

※四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある。

- 分野別の観光消費額は右表のように宿泊費(4,511億円)が最大で、交通費(3,613億円)、飲食費(3,432億円)、買い物費(2,612億円)が次ぐ。
- 各種の観光施設利用やアクティビティ等に要する娯楽等サービス(795億円)は1千億円未満に留まっており、その拡大が今後の課題となる。

2. 観光による経済波及効果

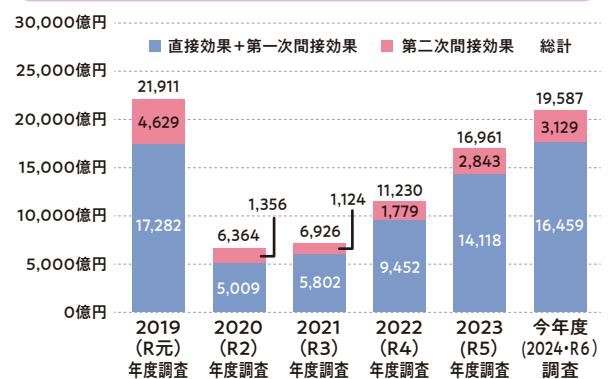
- 観光総消費額1兆5,033億円がもたらす経済波及効果は右表のように要約される。
- 経済波及効果(生産誘発額)は1兆9,588億円と推計され、昨年(1兆6,961億円)を大きく上回った。(観光消費総額に対する乗数 効果は1.30)
- 観光消費により生じる生産活動において発生する「直接効果」は1兆960億円、さらに道内の生産やサービス活動に波及する「第一次波及(間接)効果」は5,499億円となる。
- さらに、新たな雇用者所得等の増加によって生み出される「第二次波及(間接)効果」が3,129億円と推計された。
- 経済波及効果(生産誘発額)の推移は下図の通りである。

観光による経済波及効果(要約)

経済波及効果	1,958,745百万円発生					
観光GDP	544,997百万円押し上げ					
雇用者	170,145人/年の新規雇用者を誘発					
税収	38,008百万円の税収効果					
	生産誘発額(百万円)	粗付加価値(百万円)	所得誘発額(百万円)	雇用誘発数(人)	税収効果(百万円)	
直接効果	1,095,979	544,997	295,937	112,265	21,917	
1次波及効果	549,913	305,515	130,041	36,325	10,066	
2次波及効果	312,853	201,436	78,369	21,555	6,025	
合計	1,958,745	1,051,948	504,347	170,145	38,008	

※報告書詳細については当機構観光統計データサイトを参照願います
<https://statistics.visit-hokkaido.jp/pdf/>

観光による経済波及効果(生産誘発額)の推移



※四捨五入の関係で各項目と合計額が一致しない場合がある。

公益社団法人北海道観光機構 賛助会員募集

公益社団法人北海道観光機構は、北海道の観光振興推進の中核機能を担い、北海道内外の関係機関・団体・企業・地域の知恵と資源を結集した複合型の総合産業の創出による「観光立国北海道」の実現を図ることを目的として平成20年4月に設立されました。

当機構では、可能性あふれる北海道の観光産業の発展を目指し、先頭に立って関係企業の皆さまとの連携により、その役割を果たしていきたいと考えております。

何卒、当機構の活動、事業趣旨にご理解を賜り、是非、入会に向けてご検討いただきますようお願い申し上げます。

賛助会員

北海道観光機構の事業に賛助するため入会した個人又は団体

▶年会費について

1口1万円、6口6万円以上をお願いしております。
各種特典が適用される【ブロンズ会員】以上をご検討ください。

▶会員サービスについて

各種プロモーションやキャンペーンの参加募集(一部対象制限有)、セミナー・研修会のご案内、統計調査結果、業界動向の情報を、会員サイトなどを通じてお届けします。

賛助会員のビジネス活動のサポート【基本特典】

- ▶各種誘客プロモーションへの参加
- ▶観光関連セミナー、研修会の実施
- ▶ビジネスマッチングの実施(会員の商談会など)
- ▶統計調査結果の提供(来道者調査・インバウンド調査・移動データなど)
- ▶フォトライブラリー(画像データ)の利用
- ▶事業公示情報のメール配信
- ▶広報誌「観光レポート」の定期配布、サイト掲載
- ▶会員サイトでの情報発信(各種お知らせ・観光情報)
- ▶キュンちゃんキャラクターデザインの無償提供

会員種別	会員特典
 ダイヤモンド会員 100万円～	公式サイトバナー広告 公式SNS配信(6回) 観光振興・各種課題への取組支援 キュンちゃんのイベント派遣またはタイアップキャンペーン(2回) 観光セミナーなどへの講師派遣(3回)
 プラチナ会員 50万円	公式サイトバナー広告 公式SNS配信(3回) 観光セミナーなどへの講師派遣(2回) キュンちゃんのイベント派遣またはタイアップキャンペーン(1回)
 シルバー会員 30万円	公式サイトバナー広告 公式SNS配信(1回) 観光セミナーなどへの講師派遣(1回) キュンちゃんとタイアップキャンペーン(1回)
 ブロンズ会員 10万円	公式SNS配信(1回) 上記基本特典が適用
 一般会員 6万円	上記基本特典が適用

※すべての会員に基本特典が適用されます。公式SNS配信は、「X」または「Instagram」となります。

※公式サイトバナーについては、ダイヤモンド会員(1年)、プラチナ会員(6か月)、シルバー会員(3か月)トップページに掲載されます。

※キュンちゃんのイベント派遣については、出演スケジュール及び交通費・宿泊代・送料等別途相談させていただきます。

北海道の観光案内所



どうさんこ旅サロン 東京・東京交通会館3階

「どうさんこ旅サロン」は、「北海道どうさんこプラザ」(北海道のアンテナショップ)がある、東京交通会館の3階(札幌市東京事務所内)にあります。(JR有楽町駅下車すぐ)道内各地のパンフレットを取り揃えているほか、スタッフによる観光・イベント情報の案内や旅行相談も承っています。

住所／東京都千代田区有楽町
2丁目10-1 東京交通会館3階
営業時間／11:00～19:00
定休日／土・日・祝、年末年始、
施設の全館休業日
問合せ／電話03-6206-3163



北海道さっぽろ観光案内所
JR 札幌駅西コンコース北口

JR札幌駅の「北海道さっぽろ食と観光情報館」内にあり、専門のスタッフが日本語以外に、英語、中国語、韓国語で旅行相談に応じ、最新の観光情報を提供いたします。また、HTO作成のパンフレットのほか、会員施設のパンフレットが各種陳列されています。

住所／札幌市北区北6条西4丁目
JR札幌駅西コンコース北口
「北海道さっぽろ食と
観光情報館」内
営業時間／8:30～20:00
※大晦日・元旦のみ19:00まで
定休日／年中無休
問合せ／電話011-213-5088

まずはお気軽に お問い合わせください！

■賛助会員募集に関するお問い合わせ先

(公益社団法人北海道観光機構)
総務部

■本レポートに関するお問い合わせ先

(公益社団法人北海道観光機構)
マーケティング・DX部

〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番1 緑苑ビル1階
TEL 011-231-0941 (平日:08:45～17:30)
FAX 011-232-5064

会員募集中！

入会申込みの詳細は、
お問い合わせください。



いくらでも、企画します。

dentsu hokkaido

note
やっています。



北の大地
キカクテ

尽きない北海道の魅力を、
さまざまな企画でお届けしています。